地に

「くに」

れるようになり、

そして古墳時代中期に

して、

元太田山

窯跡があります。

コラム

梵天山古墳群【県指定文化財】

久慈川と山田川

時代中期には、

約12,000年前	縄文時代	
約2,500年前	弥生時代	
3~4世紀		前期 特殊器台型埴 輪・壺型埴輪が置かれた 巨大な前方後円墳が造ら れる。
5世紀	古墳時代	中期 たくさんの埴輪 が置かれた古墳が多くみ つかる。いくつかの古墳 が集中して造られた古墳 群ができる。
6世紀		後期 横穴石室をもった古墳が造られる。前方後円墳が減り、埴輪がみられなくなる。

群

からなる。

一番大きな梵天山古墳はその長さが16

円墳2基、

円 墳 11

基

島

の百穴」と呼ばれる横穴墓

にはさまれた、

標

高

40

どの台地の上にあり、

前方後

上河合町

河合駅

塚山古墳

1

86以)につづく第2位の大きさを誇る。

アクセス

島町2317

(宝金剛院)

JR

水郡線河合駅から約2・7 * トント

0 景の巨大な前方後円墳で、

茨城県内では石

口岡市の舟

東島

まり、 生まれ 5 なると稲作がさかんになり、貧富の差が 生活していましたが、 縄 が と支配されるも 文時代は狩りをしながら移動して 定住生活をするようになって「む ます。 おこりました。 そこから支配するもの のの区別ができ、 そして弥生時代に やがて農耕がはじ

ができていきました。 首長たちにより墓が造ら 弥生 省 各 中でも梵天山古墳群なかのほんてんやま 須恵器や鉄器が使われるようにサぇきでのきのか 0 古墳群として広く知られています。 群 わ 入ると、 いきます。 るようになりました。 せて60 が一般的となり、 また、古墳時代中期にはかまどを持つ 市内には古墳・古墳群や横穴墓群が合しない (幡町) 全国各地に巨大な古墳が 市内には埴輪を焼いた窯跡 は県内でも有数の規模を誇 か所以上確認されています。 土師器だけでなく (島町) や幡山古墳 になって

(古代編②) 2020年

12 日火曜日

月

常陸太田市郷土資料館 (西二町 2186) TEL:0294-72-3201

現

「古墳」のこと

れ 埴輪が立た 副葬品 大きさは ます。 と が のまであり、 てつくった丘) (死者が葬ら **古墳**と わ 古墳の中でも大型の前方後円 もっとおしえて 階層の高い人によって造られたこ かります。 (人を 葬 るためなどに土を積み上げ また、 (死者と一 は古墳時代に多く造られた墳 10 造るまでの苦労を考える 古墳の内部 を持つお墓のことです。

ます。

こで紹介する以外にも、

珍し

(J

形

おもな古墳の形を紹介します。

古墳が全国ではたくさん造られて

か 添えられていることが多く、その副葬品 5 葬 ら れ 7 る 八の 生前 生ntitl 財

لح

て巡らされていることがあ れている部分) 緒に埋葬される物) は埋葬施 が 墳台 あ Ď, は が

円墳 前方後円墳

大型古墳はこの形が多い。

日本で一番多い形。

方墳

前方後方墳

横から見た形

したものです。 横穴墓は岩肌にいると 市内では、 は横穴を掘 壁画 つ て墓室と の あ る

などがあり、 ッケ横穴墓群 (高柿町) ·善光寺横穴墓群 常陸太田市は県内でも (幡町) 猫渕横穴古墳 (松栄町

す。

横穴墓群

が密集

L

た地域のひとつで

権力がどれほどだっ たの か を推

測

ることができます。

古墳

、の形のいろいろ

THE UMEZU SHIMBUN

です。 の たのは円筒埴輪ですが、それ以外にも人 形をした動物埴輪、 形をした人物埴輪、 埴 輪 埴輪のうち、 は 粘土を焼い 家の形をした家形埴輪 もっとも多く造られ て作られた土製品 武器などの形をし 馬や 魚 ^{うま} きかな など動物

コラム 偶と埴輪 土 一偶と 埴 輪 の 違が 推測することができます。

よって、

古墳時代の生活のようすなどを

さまざまな形があります。

その形に

た器財

埴

輪、

が全然違うんです! 人形ですが、 説明できますか?どちらも土製の 実は造られた時代や目的

権力者の功績 を表している

埴輪

古墳時代

3~6世紀

古墳

副葬品として



勾玉装身具まがたまそうしんぐ (身を飾るための道具)

部分にひもを通すための孔があい います。 玉 は 。写真の メ)

ゥ

願う

土偶

縄文時代

集落跡

儀式の道具として

€ √

とつです。

かぎ状にまがっていて、

まる

12,000~

2,500年前

られています。 i s · う 石 で

切子玉 ガラス小玉展示品の切子玉 穿

造られた

発見される

造られた

時代

場所

目的

士を掘るとみえてくる、むかしの暮らし~用語集&展示品紹介~

上師器

(古墳時代以後に作られた、

赤が す。

4

れ た、

硬くて青い色をした土器

で

が

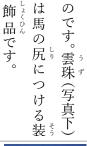
かった土器のこと)

よりも高級品

と

使われる用語の解説をしていきます。 ています。ここでは、 常陸太田市の遺跡から発見された遺物の一部は、 郷土資料館で展示しているものを紹介しながら、考古学で 郷土資料館梅津会館で展示しきょうどにりょうかんうめづかいかん。 てんじ

馬具馬につける道具のこと。
ば ぐ うま 手綱をつないで馬を制御するためのも は馬具の一種で、 馬にくわえさせ 轡っゎ 写真





のひ をまつること)の場で使わ が素材で、 た道具です。 鏡

武器や農業

の

道

加工しやす

ć ý

石

紡錘車土・ ざまな種類があります。 石 ・鉄などを材料にして、

直径5ホッススほどの円盤に5ッシスほどの

穴があいています。穴に棒を差し込んできた。 よりをかけて糸に 回転させることで、 繊維に する



古墳時代 から平安時代まで作

須恵器

は濃紺色・青色・浅葱色のガラスで作ら 真上) は水晶 ガラス小玉 (写真下

使って形作

つ

たと

ようです。

口

ク

口

を

してあつか

わ

れ

た

いう特徴

が

あ

り

れています。ガラス小玉は現代のビー



に 似 て 61 ま

ます。

朝鮮半島 ちょうせんはんとう

ら

来

た渡来

か

ら

え

伝た

以上の高温

で

焼

で

1

0

0

0

度ど

ヹ

す。



(神々や祖先

られました。

増小型 がた 一で 口_ち が 広 ιV 壺ぽ



円板・玉など、

さま

器台小型の壺などを こと。

がほどこされたも のこと。 せるための台形の土器 透かし や赤 の

ばれます。 装飾器台(写真左)と呼

